英文法 L01 第 50 講 基本的な仮定法

学習目標

現実との隔たりが明示された基本仮定法の形を選ぶことができる

定義

節とは、主語と述語を含む語のまとまりである。本講で扱う仮定法は、現在や過去の事実と異なる状況を想像し、動詞や助動詞の形で現実との隔たりを表す表現である。単に「もし」と条件を述べる文とは区別する。

解説

まず、現在の事実と異なることを想像する用法を扱う。この用法を**仮定法過去**という。基本の形は、条件を表す節である If 節に過去形、その条件のもとでどうなるかを表す主節に would＋動詞の原形を使う形である。

ここで使う過去形は、過去の出来事を報告するためのものではない。現在の現実とは異なることを仮定していると示す働きがある。

たとえば、今は自由な時間が少なく、読書をする時間がないとする。

If I had more time, I would read more books.

現在の条件 [条件]: “If I had more time” / 過去形 had

今の結果 [結果]: “I would read more books” / would＋原形

もしもっと時間があれば、もっとたくさんの本を読むのに。

解説

現実には自由な時間が少ないため、もっと時間がある状況を想像している。If 節の had は過去形だが、過去の出来事ではなく、現在の事実と異なる仮定を表している。主節では would read とすることで、その仮定のもとで実現することを表している。

過去の事実と異なる仮定

定義

仮定法過去完了とは、過去の事実と異なることを仮定し、その場合にどうなっていたかを述べる表現である。基本の形は、If 節に had＋過去分詞、主節に would have＋過去分詞 を使う。

解説

たとえば、実際には家を出るのが遅く、電車に乗り遅れたとする。

If I had left home earlier, I would have caught the train.

過去の条件 [条件]: “If I had left home earlier” / had＋過去分詞

過去の結果 [結果]: “I would have caught the train” / would have＋過去分詞

もしもっと早く家を出ていたら、その電車に乗れていただろう。

©ミライコーチング

解説

過去の事実は「家を出るのが遅く、電車に乗れなかった」である。これと異なる状況を仮定するため、If 節では had left、主節では would have caught を使う。どちらも過去の事実とは異なる仮定に対応する形であり、過去の出来事をそのまま報告しているわけではない。

現在の事実と異なる仮定では、If 節に過去形、主節に would＋動詞の原形 を使う。一方、過去の事実と異なる仮定では、If 節に had＋過去分詞、主節に would have＋過去分詞 を使う。判断するときは、仮定の対象が現在なのか、過去なのかを確認することが大切である。

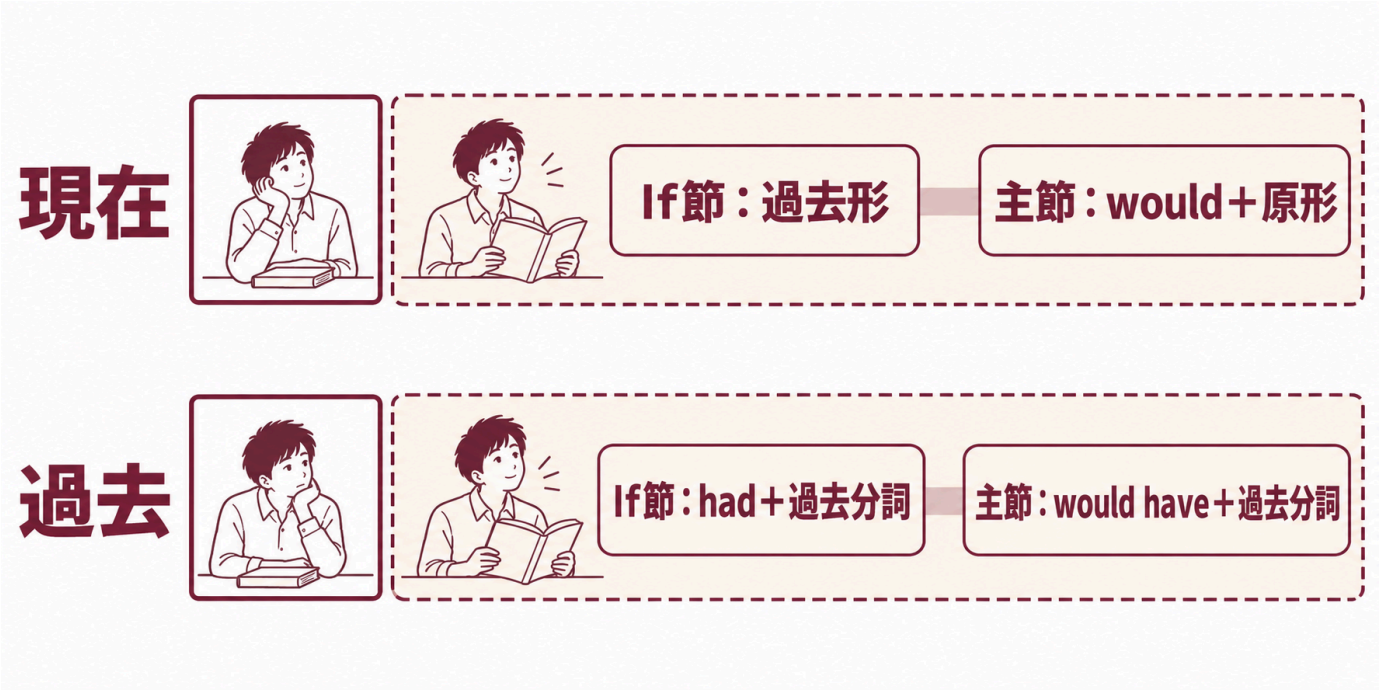


図 1　「現在／過去」は仮定する事実の時点を示し、実線の小窓は現実、破線枠は仮定を表す。本講では、条件と結果がどちらも現在なら If 節の過去形と would＋原形、どちらも過去なら If 節の had＋過去分詞と would have＋過去分詞を使う。

例題

例題 1

現在の事実と異なる条件と、その場合の今の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

今は答えを知らないので、相手を手伝うことができない。現在の事実と異なり、答えを知っていると仮定して述べる。

If I (　　) the answer, I would help you now.

A. know

B. knew

C. had known

D. would know

解答・解説

正解：B. knew

If I knew the answer, I would help you now.

もし答えを知っていれば、今あなたを手伝うのに。

今は答えを知らないという現実に対し、答えを知っている状況を想像している。主節には would help があり、現在の事実と異なる仮定を表しているため、If 節には過去形の knew を使う。ここでの過去形は、過去の出来事ではなく、現在の現実との隔たりを表す。

A. know：この文では現在形で、原形と同じ形である。現在の事実と異なる条件を表す If 節には過去形が必要なので、この文の仮定には合わない。

B. knew：正解。一般動詞の過去形で、現在の事実と異なる仮定を表し、主節の would help と対応している。

C. had known：過去の事実と異なる仮定に使う過去完了形である。今回は現在の事実について述べているため、時点が合わない。

D. would know：助動詞 would を If 節に置いている。今回扱う基本形では、If 節に過去形、主節に would＋動詞の原形 を使う。

例題 2

本講の基本形で、過去の事実と異なる条件と、その場合の過去の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

Yesterday, I forgot to set my alarm, overslept, and missed the bus.

If I had set an alarm, I (　　) the bus.

A. would catch

B. would have caught

C. had caught

D. caught

解答・解説

正解：B. would have caught

Yesterday, I forgot to set my alarm, overslept, and missed the bus.

昨日、私は目覚ましをセットし忘れて寝坊し、バスに乗り遅れた。

If I had set an alarm, I would have caught the bus.

もし目覚ましをセットしていたら、そのバスに乗れていただろう。

実際には昨日、目覚ましをセットせず、寝坊してバスに乗り遅れた。過去の事実と異なる仮定なので、If 節には had＋過去分詞 の had set を使い、主節には would have＋過去分詞 の would have caught を使う。この 2 つの形の対応が、過去の現実とは異なる結果を表す判断の根拠になる。

A. would catch：would＋動詞の原形 は現在の事実と異なる仮定で使う基本形であり、今回の過去の事実と異なる仮定には合わない。

B. would have caught：正解。would have＋過去分詞 の形で、過去の事実と異なる仮定のもとで実現したはずの結果を表している。

©ミライコーチング

C. had caught：had＋過去分詞 は過去完了形で、今回の基本形では If 節に使う形である。主節の結果を表す形には合わない。

D. caught：一般動詞の過去形で、過去に起きた出来事を述べる形である。過去の事実と異なる仮定のもとでの結果を表す形にはならない。



図 2　昨日の現実では目覚ましの設定忘れから寝坊とバスの乗り遅れにつながるが、設定していたと仮定するとバスに乗れたという過去の条件と結果の違いを示す。

演習問題

演習 1

現在の事実と異なる条件と、その場合の今の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

I can't keep a dog because I have no garden. If I (　　) a garden, I would keep a dog now.

A. have

B. would have

C. had

D. has

演習 2

現在の事実と異なる条件と、その場合の今の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

I am too busy to cook now. If I had more time, I (　　) dinner now.

A. cook

B. cooked

C. would have cooked

D. would cook

演習 3

現在の事実と異なる条件と、その場合の今の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

I can't speak French now. If I (　　) French, I would talk to them now.

A. spoke

B. speak

C. had spoken

D. would speak

演習 4

現在の事実と異なる条件と、その場合の今の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

I have no bicycle now. If I had a bicycle, I (　　) to school now.

A. ride

B. rode

C. would ride

D. would have ridden

演習 5

本講の基本形で、過去の事実と異なる条件と、その場合の過去の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

Yesterday, I left my camera at home, so I took no photos.

If I (　　) my camera, I would have taken a photo.

A. had brought

B. have brought

C. would have brought

D. had bring

©ミライコーチング

演習 6

本講の基本形で、過去の事実と異なる条件と、その場合の過去の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

Last night, I forgot my umbrella, so I got wet.

If I had taken my umbrella, I (　　) dry.

A. stayed

B. would stay

C. would have stayed

D. had stayed

演習 7

本講の基本形で、過去の事実と異なる条件と、その場合の過去の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

Last night, I forgot to charge my phone, so it died.

If I (　　) my phone, it would have worked.

A. would have charged

B. had charged

C. have charged

D. had charge

演習 8

本講の基本形で、過去の事実と異なる条件と、その場合の過去の結果を述べる。空所に入る最も適切な語句を選べ。

Yesterday, I didn't save my file, so I lost my work.

If I had saved the file, I (　　) my work.

A. saved

B. had saved

C. would save

D. would have saved

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

演習 1

正解：C. had

I can't keep a dog because I have no garden. If I had a garden, I would keep a dog now.

私は庭がないので犬を飼えない。もし庭があれば、私は今犬を飼うのに。

現実には庭がないため、今は犬を飼えない。庭があるという現在の事実と異なる条件を仮定し、その場合に今どうするかを述べている。主節には would keep があるため、現在の現実と異なる仮定を表す基本形では If 節に動詞の過去形を使う。一般動詞 have の過去形は had なので、C が正解となる。

A. have：この文では現在形で、原形と同じ形である。現在の事実と異なる仮定を表す今回の基本形には合わない。ただし、現実に起こり得る条件を表す If 節などでは、have は正しく使える形である。

B. would have：would have は助動詞 would と動詞の原形 have の組み合わせである。今回の基本形では、If 節に would を置かず、過去形 had を使う。なお、別の用法では If 節に would が現れることもあるため、あらゆる文脈で誤りというわけではない。

C. had：正解。have の過去形であり、現在の事実と異なる条件を表す If 節に適している。主節の would keep と対応して、今の現実とは異なる状況を表す。

D. has：主語が I であるため、現在形の has は主語と動詞の形が一致しない。has は主語が he や she などの三人称単数の場合に使う現在形である。

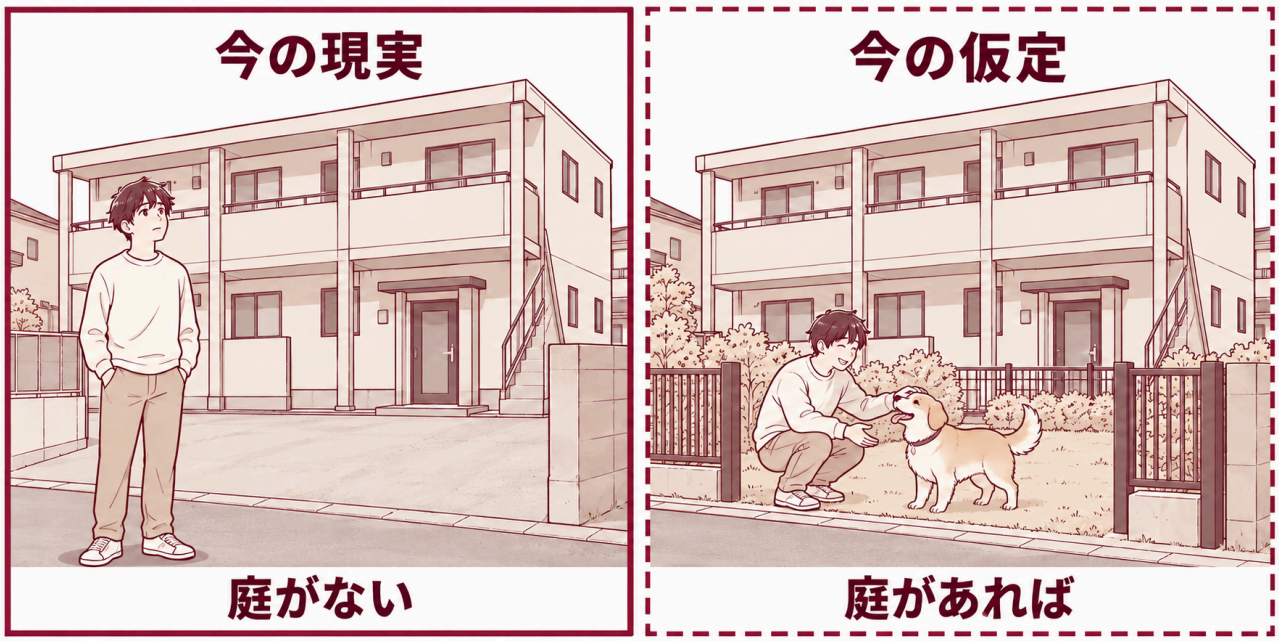


図 3　今は庭がないため犬を飼えない現実と、庭があれば今犬を飼うという仮定を対比し、現在の条件と結果の関係を示す。

演習 2

正解：D. would cook

I am too busy to cook now. If I had more time, I would cook dinner now.

私は今忙しすぎて料理をする余裕がない。もしもっと時間があれば、私は今夕食を作るのに。

現実には今、忙しすぎて料理をする余裕がない。もっと時間があるという現在の事実と異なる条件を仮定し、その場合に今どうするかを述べている。If 節には過去形 had があり、現在の現実と異なる仮定を表している。したがって、主節には would＋動詞の原形 を使い、would cook とする。

A. cook：この文では現在形で、原形と同じ形である。現在の習慣や事実を述べる文などでは使えるが、今回の主節で現在の現実と異なる仮定の結果を表すには would が必要である。

B. cooked：cooked は cook の過去形でも過去分詞でもある。過去の出来事を述べる場合などには正しく使えるが、今回の主節では would＋動詞の原形 という形に合わない。

C. would have cooked：would have＋過去分詞 は、過去の事実と異なる仮定のもとで、過去にどうなっていたかを表す基本形である。今回は今の結果を述べているため、過去の結果を表すこの形ではなく would cook を使う。過去の結果を述べる別の文脈では正しく使える形である。

D. would cook：正解。would の後ろに動詞の原形 cook が続き、現在の事実と異なる条件のもとで、今どうするかを表している。If 節の had と対応する基本形である。

演習 3

正解：A. spoke

I can't speak French now. If I spoke French, I would talk to them now.

私は今フランス語を話せない。もしフランス語を話せたら、私は今彼らと話すのに。

現在はフランス語を話せない。フランス語を話せると仮定して、今彼らと話すという結果を述べている。今の結果を表す主節が would talk なので、現在の事実と異なる条件を表す If 節には過去形の spoke を使う。

A. spoke：正解。speak の過去形で、現在の事実と異なる条件を表し、主節の would talk と対応している。

B. speak：現在形であり、現在の事実と異なる仮定を表す今回の基本形には合わない。現実に起こり得る条件を述べる場合なら使える。

C. had spoken：過去の事実と異なる仮定に使う過去完了形である。今回は現在の条件を述べているため、時点が合わない。

D. would speak：この設問の基本形では、If 節に would を置かず、過去形を使う。主節に would talk があることも判断の手がかりになる。

©ミライコーチング

演習 4

正解：C. would ride

I have no bicycle now. If I had a bicycle, I would ride to school now.

私は今自転車を持っていない。もし自転車を持っていたら、私は今自転車で学校へ行くのに。

現在は自転車を持っていないが、持っていると仮定した場合に今どうするかを述べている。If 節の had が現在の事実と異なる条件を示すため、主節には would＋動詞の原形 の would ride を使う。

A. ride：この文では現在形で、原形と同じ形である。現在の習慣などを述べる場合には使えるが、今回の主節で仮定した結果を表す形には合わない。

B. rode：動詞 ride の過去形である。過去の出来事を述べる場合などには使えるが、今回の主節では would＋動詞の原形 が必要になる。

C. would ride：正解。would の後ろに動詞の原形 ride が続き、自転車があるという仮定のもとで、今自転車で学校へ行くことを表している。

D. would have ridden：過去の事実と異なる仮定のもとで、過去にどうなっていたかを表す形である。今回は今の結果を述べているため、時点が合わない。

演習 5

正解：A. had brought

Yesterday, I left my camera at home, so I took no photos.

昨日、私はカメラを家に置いてきてしまったので、写真を一枚も撮らなかった。

If I had brought my camera, I would have taken a photo.

もしカメラを持ってきていたら、私は写真を一枚撮っていただろう。

実際には昨日カメラを家に置いてきて、写真を一枚も撮らなかった。過去の事実と異なる条件を表す If 節には had＋過去分詞 を使うため、had brought が正解となる。主節の would have taken も、同じ過去の仮定のもとでの結果を表している。

A. had brought：正解。had＋過去分詞 の形で、過去の事実と異なる条件を表している。

B. have brought：現在完了形の一部として使われる形だが、今回の If 節で過去の現実と異なる仮定を表す基本形には合わない。

C. would have brought：過去の仮定の結果を表す主節の基本形に当たる。今回の If 節では would を使わず、had＋過去分詞 とする。

D. had bring：had の後ろには過去分詞が必要だが、bring は原形である。過去分詞は brought となる。

©ミライコーチング

演習 6

正解：C. would have stayed

Last night, I forgot my umbrella, so I got wet.

昨夜、私は傘を忘れたので、ぬれてしまった。

If I had taken my umbrella, I would have stayed dry.

もし傘を持っていっていたら、私はぬれずに済んでいただろう。

実際には昨夜傘を忘れ、その結果ぬれてしまった。過去の事実と異なる条件を表す If 節が had taken なので、主節には過去の仮定の結果を表す would have＋過去分詞 を使う。したがって、would have stayed が正解となる。

A. stayed：過去形であり、過去の出来事を述べる場合には使えるが、今回の過去の現実と異なる仮定の結果を表す形には合わない。

B. would stay：would＋動詞の原形 は現在の現実と異なる仮定などで使う基本形である。今回は昨夜の結果を仮定しているため、時点が合わない。

C. would have stayed：正解。would have＋過去分詞 の形で、傘を持っていったという過去の仮定のもとで、ぬれずに済んだ結果を表している。

D. had stayed：過去完了形であり、過去の別の基準時より前の状態などを表す場合には使えるが、今回の主節で仮定した結果を表す基本形には合わない。



図 4　昨夜、傘を忘れてぬれた現実と、傘を持っていればぬれずに済んだという仮定を対比し、過去の条件と結果の関係を示す。

演習 7

正解：B. had charged

Last night, I forgot to charge my phone, so it died.

昨夜、私は携帯電話を充電するのを忘れたので、携帯電話の電池が切れた。

If I had charged my phone, it would have worked.

もし携帯電話を充電していたら、携帯電話は使えていただろう。

実際には昨夜、携帯電話を充電し忘れて、電池が切れた。過去の現実と異なる条件を表す If 節には had＋過去分詞 を使うため、had charged が正解となる。主節の would have worked は、その条件のもとでの過去の結果を表している。

A. would have charged：would have＋過去分詞 は、この基本形では主節で過去の結果を表す形である。今回の If 節には had＋過去分詞 を使う。

B. had charged：正解。had＋過去分詞 の形で、実際には充電しなかったという過去の事実と異なる条件を表している。

C. have charged：現在完了形などで使われる形だが、今回の If 節で過去の現実と異なる条件を表す形には合わない。

D. had charge：had の後ろには過去分詞が必要だが、charge は原形である。正しい過去分詞は charged となる。

演習 8

正解：D. would have saved

Yesterday, I didn't save my file, so I lost my work.

昨日、私はファイルを保存しなかったので、作業内容を失った。

If I had saved the file, I would have saved my work.

もしそのファイルを保存していたら、私は作業内容を保存できていただろう。

実際には昨日、ファイルを保存せず、その結果、作業内容を失った。If 節の had saved は過去の現実と異なる条件を表しているため、主節には過去の結果を表す would have＋過去分詞 が必要となる。したがって、would have saved が正解となる。

A. saved：過去形で、過去に実際に行ったことなどを述べる場合には使えるが、今回の主節で仮定した過去の結果を表す形には合わない。

B. had saved：過去完了形で、今回の基本形では If 節に使う形である。主節で過去の結果を表すには would have＋過去分詞 が必要となる。

C. would save：would＋動詞の原形 は現在の事実と異なる仮定などで使う基本形である。今回は過去の条件に対する過去の結果を述べるため、時点が合わない。

D. would have saved：正解。would have＋過去分詞 の形で、ファイルを保存していたという仮定のもとで、作業内容を保存できていたはずだという過去の結果を表している。

©ミライコーチング